

## 会 議 報 告 書

先に開催しました令和5年度第1回当別町文化財調査審議会の内容について、下記のとおり報告いたします。

- 1 日 時 令和5年12月21日（木）9：30～10：20
- 2 場 所 当別町役場 大会議室
- 3 出 席 者 鎌田会長、梅枝副会長、倉田委員、渡部委員、大口委員  
三澤教育長  
社会教育課：石川課長、下村係長、吉田主事
- 4 内 容  
進行：石川社会教育課長
  - 1 委嘱状交付 教育長から各委員に委嘱状を交付
  - 2 開会
  - 3 教育長挨拶
  - 4 会長及び副会長選出  
・会長 鎌田 望 氏  
副会長 梅枝 正春 氏 に決定
  - 5 会長挨拶
  - 6 報告事項 説明：下村係長  
(1) 各種事業及び文化財状況等の報告について
  - 7 その他 なし
  - 8 閉会

発言者	発言内容
事務局	報告事項（１）各種事業及び文化財状況等の報告について （事務局より、資料に基づき説明）
鎌田会長	ただいま事務局より説明のあった内容について、委員の皆様方より意見いただきたい。
渡部委員	弁華別小学校については、屋根や壁などが朽ちてきている。維持のためには、まずは町民の機運を高めていく必要がある。
鎌田会長	大規模修繕が必要になる前に少しずつ修繕する方が維持費は少なく済む。資金調達はクラウドファンディングなどの方法がある。 特に卒業生の残したいという想いを核として、町全体の機運を高めるなど、町民が主体的に動かないと機運は高まらない。
大口委員	維持するとしたら、町民有志による実行委員会の立ち上げが必要ではないか。
梅枝副会長	北海道最古の木造２階建て校舎というだけでは、残す理由がないのではないか。残すにしても古い建築物なので、もともと土台が悪く、壁など外観もすでに見栄えが悪い状況。現時点で修繕するにしても費用は数千万、耐震を考慮するとそれ以上であろう。費用面も考慮しながら残す必要があるかどうか検討が必要。
渡部委員	参考として、音威子府には平屋の木造校舎をアトリエにして入場料を数百円徴収して維持管理費に充てている例もある。
鎌田会長	10代、20代の人が自分たちにとって大事なものとして認識してもらうことが肝要。その価値や想いがまとまれば保存するような動きにつながると思う。
倉田委員	セイウチ科骨格化石は、北大博物館で展示されているので町内の人を知る機会がない。パンフレット等を作成し、町内でも文化財指定物としての周知が必要ではないか。 吾妻家文書は、これまで意見してきたように、大崎市に残された約1,000点の古文書を寄贈いただき、今当別にある9,411点と併せて一括して保存すべき。
鎌田会長	いずれにしても保存に関して、今できることを少しずつ積み重ねていけば、前にできなかったことも徐々にできるようになることがある。町内にある貴重な文化財について、これからも保存・活用を進めていただきたい。